

和歌山病院での実習を終えて



山本 拓

選択ポリクリの一環として、和歌山病院の呼吸器内科で3週間実習させて頂きました。数ある病院の中で、私が実習先に和歌山病院を選んだ理由は、1年前に学内のポリクリで来た際に、南方先生、駿田先生の講義を受け、もっと和歌山病院の先生方の下で実習をできたらと思ったこと、また実際に実習を行った先輩の勧めがあったからでした。実際この3週間では、南方先生、駿田先生には、お忙しい中、胸部 X 線画像の読影や担当患者の病態について教えて頂きました。特に胸部 X 線画像の読影では、南方先生と共に1枚の画像を30分程かけてじっくりと読影し、そこから考えられる病態についてディスカッションをするという非常に濃厚なもので、今後臨床現場に出ていく上で、大変有意義な時間となりました。

また、学内でのポリクリと異なり、担当患者さんだけでなく、入院患者さんの採血や気管支鏡といった処置や診察に、毎日参加させて頂きました。またその中で、先生のご指導のもと、ルートを探らせていただくなど学内では経験できなかったことを経験させて頂きました。学生の内に、このように様々な臨床の現場に参加させて頂けたことは、貴重な経験になりました。

また私が実習させて頂いた期間は、研修医の先生も2人来られており、その2人の先生方とともに空き時間に、患者さんの病態や治療について考えたり、処置の練習をしたりと、空いた時間も色々と学ばせて頂きました。

日々実習をする中で感じたのは、和歌山病院では、職員の方々がすれ違うたびに挨拶をされており、またそれは学生に対しても同様で、すごく温かく、働きやすい病院なのだろうなということでした。それだけでなく、実習中は、先生方、職員の方々がいつも気にかけて下さり、本当に不自由なく実習させて頂くことができました。最後になりましたが、様々なことを学ばせて頂いた先生方、病棟や外来でお世話になりましたコメディカルの方々、宿舎や身の回りのことなどを気にかけて下さった職員の方々に改めて御礼申し上げます。

本当に3週間ありがとうございました。